



エコ・ファーストの約束

～環境企業としての地球環境保全の取組～

平成20年6月24日

環境大臣 鴨下 一郎 殿

株式会社 INAX
代表取締役社長

川 奉 隆 一

株式会社INAXは、住宅および建築で使われる設備機器や建材などの製造と販売を行なう企業としての社会的責任を全うし、サステナブル(持続可能)な社会の実現に向けた以下の取組を進めてまいります。

1. モノづくりを通じて「低炭素社会」を構築します。

- 国内および海外の連結子会社を含めたINAXグループのCO₂総排出量を1990年比で2010年に19.1%削減します。さらに、2020年に30%削減し、2050年には80%削減します。
- 窯業技術のイノベーションを実現し、窯業用焼成炉のCO₂排出量を大幅に削減します。
- 2010年より風力発電機の運転を開始し、自家発電によるCO₂排出削減を進めます。これは、1,500kW風力発電機で2百万kWh/年を自家発電するもので、INAXの電気使用量の約1%に相当します。
- 製品の軽量化やコンパクト化、さらには輸送の効率化や共同化、鉄道コンテナへのモーダルシフトによって、輸送時のCO₂排出量を前年比で毎年1%以上削減します。

2. 製品販売を通じて「省エネ社会」を構築します。

- INAX製品の省エネを促進し、製品使用時のCO₂排出量の表示を拡大し、2009年には市場でのCO₂排出削減値を公表します。また、2010年にはINAXオリジナルのライフサイクルデザイン評価システムによる基準をクリアしたエコ推奨商品の売上比率を90%にします。
- 冷暖房エネルギーを削減する建材商品を開発し、2010年には民生部門のCO₂排出量を大幅に削減する画期的なエコエポック建材商品を1アイテム以上発売します。
- 給湯エネルギーを削減する住宅設備商品を開発し、2010年には民生部門のCO₂排出量を大幅に削減する画期的なエコエポック住宅設備商品を1アイテム以上発売します。

3. リフォームビジネスを通じて「循環型社会」を構築します。

- 製造者責任のひとつとして、新築・リフォーム工事などで発生した使用済み廃材を回収してリサイクルを行うエコセンター事業(廃材回収循環システム)について、2008年には愛知県でビジネスモデルを完成させます。さらに、2009年に三重県で、2010年には茨城県でエコセンター事業を開始します。
- 広域認定制度を活用し、新築・リフォーム時における適正処理と再資源化を促進するサービスをさらに向上させます。

4. 環境マネジメントシステムを進化させます。

- 環境についてのコンプライアンスを徹底し、法違反ゼロを継続します。

5. 生物多様性維持のための活動を推進します。

- 生物多様性維持の取組方針や活動目標を明確にし、里山・森林などのフィールド活動を全国で3ヶ所以上実施します。
- 国内および海外での環境教育を継続的に実施します。国内では、「水を守り、土を活かす」というINAXの事業を通じた環境ワークショップを実施し、2010年には全国で年間15件以上開催します。海外では、ベトナムでの環境授業を拡大し、2010年までに12校以上累計1,500人以上に拡大します。

株式会社INAXは、上記取組内容の進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告いたします。

